

官公庁案件に初採用

らくらくアルミケーブル 古河電工

古河電気工業と古河電

工業電線が開発・製造し、SFCC(川崎市川崎区)が販売する高機能型低圧アルミ導体CVケーブル「らくらくアルミケーブル」が、官公庁案件で初めて採用された。

初採用となったのは、官公庁設備への電源供給用。曲がりの多いルートでの延線にも関わらず、延線作業は予定の3分の2の時間で終了するなど作業効率を向上し、建設現場の働

き方改革に貢献した。

施工を行った栗駒電気工事からは、「らくらくアルミケーブルは軽いだけでなく柔らかいので取り回しやすく、延線だけでなく盤への挿入も楽だったと評価。端末処理においても、古河電工と古河電工業電線が主催する「らくらくアルミケーブル」端末施工講習会の受講者が担当したこともあり、スムーズに終了した。

官公庁の調達では、J

IS(日本産業規格)の認証を受けた製品が広く活用されているが、現時点でJIS C 3605 600V ポリエチレンケーブルでは銅導体製品のみが規定されており、アルミ導体ケーブルはJCS(日本電線工業会規格)に規定されている。今回の案件では、アルミ導体ケーブルが従来の銅導体ケーブルと同等の品質であると判断され、採用に至った。

「らくらくアルミケーブル」については、端末処理を安心して行ってもらえるよう、専用圧縮・圧着

端子、端子台、端末処理の専用工具を用意し、「らくらくアルミケーブルシステム」としてケーブルからつなぎ込みまでを一貫したシステムとして提案している。

今回の官公庁初採用を含め、これまでに100件を超える建設現場での実績は、らくらくアルミケーブルが働き方改革の実現に貢献する材料であることを証明しているものであり、今後、「らくらくアルミケーブル」(システム含む)の売上高を24年度までに20億円に拡大する計画としている。

